

文政句帖

小林一茶。文政八年（一八二五年）六月。前書きは原則として次の一句にのみかかると解するが、次句も「釣鐘」であり、二句後にも「戸隠」とあるので連続する三句をあげておく。

戸隠山

涼しさや青いつりがね赤い花
釣鐘の青いばかりも涼しさよ
戸隠の屋根から落る清水哉

註 国立国会図書館デジタルコレクションの「一茶叢書
第8編」(DOI 10.11501/1186722)の画像の146コマ
目。